

【逗子の玄関口はどうなる?】JR逗子駅ビル開発で問う安全と将来



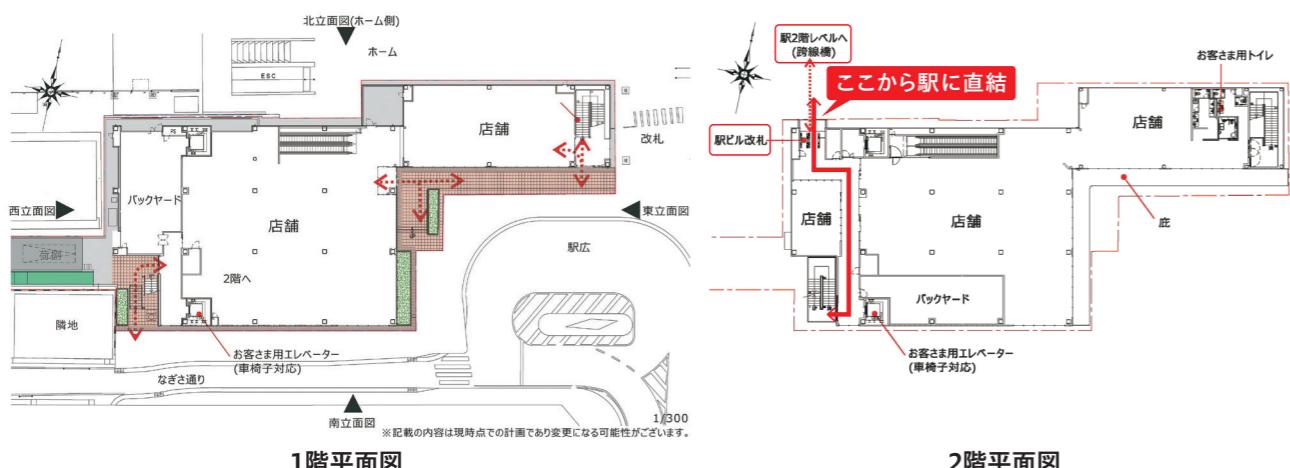
交通渋滞対策は「問題が起きてから」で良いのか? 計画概要と最大の懸念を追及!



「逗子駅ビル開発」パース図

菊池俊一の主張: 事業者任せにしない「責任ある開発」を!

駅ビル開発は逗子の活性化に不可欠ですが、渋滞を引き起こして市民生活を損なっては本末転倒です。私は、開業前に具体的で実効性のある渋滞対策を講じること、そして行政がリーダーシップを取り、地域住民や商店街との対話の場を設けるよう、強く求め続けてまいります。



逗子駅ビル開発 計画の概要

事業名称	逗子駅ビル開発	延べ床面積	1,834.04m ² (容積率94.95%)
構造・規模	鉄骨造 2階建て 高さ11.25m	駐車場	10台 (うち荷捌き用1台・身障者用1台)
用途	物販店舗・飲食店	駐輪場	54台
建物面積	978.59m ² (建蔽率50.66%)	予定工期	着工2026年8月 竣工2027年12月

JR逗子駅ビル開発の全容が見えてきました。私は「逗子の顔」にふさわしい整備と、市民生活を守る安全対策を求め、一般質問で追及しました。

■駅ビルの概要と利便性(2027年12月竣工予定)

- 新改札口の設置: 2階店舗から既存の跨線橋へ直結する「駅ビル改札」が新設され、利便性が向上します。
- 建物の構成: 1・2階に物販・飲食店が入る2階建て延床面積約1,834m²の商業施設です。

■図面から見える課題: 交通渋滞は大丈夫か?

- 図面を確認すると、1階店舗は「なぎさ通り」と「駅前広場」の両面に面しており、人の流れが大きく変わります。しかし、最大の懸念は交通環境への影響です。
- 後手な渋滞対策: 事業者は住民説明会で「渋滞が起きてから対応する」という消極的な姿勢を示しました。
 - 対話の欠如: 地元「なぎさ通り商店街」との意見交換の場も未だ設けられていません。

総合病院誘致: 市長に「必要性」を認めさせ、 体制整備を要求!



市民の命を守る総合病院の必要性を貫して訴えた結果、市長から「必要性そのものは否定しない」との重要な答弁を引き出しました。しかし、進出希望があった際の受け入れ基準について、市は「予め設ける予定はない」と消極的です。好機を逃さぬよう、迅速に判断できる体制整備を強く要求します。



進出断念となった「葵逗子病院」のイメージ図



逗子市議会議員
きくち しゅんいち
菊池俊一

プロフィール

1970年2月6日 逗子で生まれる A型
1976年3月 逗子幼稚園 卒園
1982年3月 逗子小学校 卒業
少年野球/逗子オリーブス
ミニバス/ファミリーズ
1985年3月 久木中学校 卒業 陸上競技部
1988年3月 追浜高校 卒業 ラグビー部
1993年3月 日本大学生産工学部機械工学科 卒業
夏は3年間、葉山の海岸監視員を経験
1993年4月 関東自動車工業(株) 入社 開発設計
1998年9月 労働大臣 甘利明 秘書
2002年3月 逗子市議会議員 初当選(6期連続当選)
以降 逗子小学校 PTA会長(2期)
逗子中学校 PTA会長(2期)
逗子市PTA連絡協議会 会長(2期)
逗子市議会 議長(第61代、第64代)
関東市議会議長会 副会長
現在 逗子葉山ラグビースクール 顧問
逗子海岸ウォーターパーク実行委員会 顧問
湘南獣医師会 顧問
逗子7丁目東自治会 顧問
逗子落書き消し隊 代表
735style 顧問
逗子市青少年指導員
海上保安庁指定 海上安全指導員

家族/4人家族(妻・長女・次女)
趣味/自動車・SUP・ガーデニング・DIY・スノーボード
スポーツ/ラグビー・ライフセービング・短距離走

再び揺らぐ逗子海岸の秩序!「ルールの曖昧化」を糾弾



「静かなファミリービーチ」の理念が崩壊の危機に。行政の無責任な対応が混乱を招いています。

かつての混乱した海岸に逆戻りさせるのか?



■音楽イベント試行は「失敗」である

海岸組合の要望で試行された音楽イベントでルール違反が相次ぎました。

- ・**テレビ放送問題:**市の方針に反する海の家のライブ映像が放送されました。市はこの撮影を許可しただけでなく、担当課長まで出演しました。市長は「誤解を招く内容があった」と認めましたが、不適切な活動を容認・加担した市の責任は重大です。条例・ルール違反への「明確な指導」を強く求めます。
- ・**判断の先送りは責任放棄:**重大な違反が相次いだにもかかわらず、市長は「検討会で議論」と判断を回避。試行の失敗は明らかです。市民の安全を守るため、直ちに「全面禁止」の方針へ戻すべきです。



夏の逗子海岸

責任逃れの言い訳が、さらなるルール違反を招く

■BMW侵入事件で露呈した「ルール軽視」

9月、無許可の車両が海岸に侵入しスタックする事件が発生。この際の市の説明に驚くべき事実がありました。

- ・**責任のすり替え:**担当課長は報道に対し「鍵がなかった。鍵をかけることを検討したい」と、「管理責任」を「設備の不備」に矮小化して説明しました。
- ・**監督責任の欠如:**最終的に市長は**海岸組合の管理不足と市の連携不足**を認めましたが、こうした行政の「海岸組合への甘い対応」こそが秩序を乱す最大の原因です。



逗子海岸BMWスタック事件(2025,9,7)

菊池俊一の主張：毅然とした「ルール厳格運用」を！2014年7月の殺人事件を繰り返してはいけない。



逗子海岸の秩序は、厳しい条例とそれを運用する行政の強い意志があってこそ守られます。

- ・**音楽イベントは全面禁止へ回帰:**過去、音楽イベントがクラブ化へと進み風紀が乱れ、治安が悪化しました。試行の失敗を受け、全面禁止の原則を徹底させます。
- ・**担当課の姿勢を正す:**条例・ルール解釈を曖昧にし、責任を不明確にする市の無責任な対応は容認できません。

私は、市民が安心して過ごせる「日本一安全なビーチ」を守るため、市長に対し条例・ルールの厳格適用を強く要求し、闘い続けます。

諸マリーナ：「海洋教育と市民交流の拠点」へ！ 市長が方針を確約



諸マリーナ跡地を、観光偏重ではなく「海を学び、地域が交流できる拠点」にすべきだと提言してきました。これに対し市長は、**海洋教育や環境・安全確保の拠点**として利活用する方針を明示。「近隣自治会の意見を伺い、市民に開かれた施設とする」と確約しました。次世代を育む憩いの場として着実な実現を推進します。



諸マリーナ

池子問題：担当課を「基地政策課」へ名称変更！ 主体的な行政へ



池子の森の将来像検討など、主体的な政策形成を担う部署として、名称を「基地対策課」から**「基地政策課」**へ変更することを提案し、実現しました。これにより、従来の「受け身の対策」から、日米交流や災害協力など、市が主導権を持って基地行政に取り組む姿勢へと大きな転換が図られます。



池子の森自然公園緑地エリア

田越川管理通路の安全： 右岸への防犯灯設置を！



下田橋～柳原公園間の右岸通路は夜間の暗さが危険です。市は「県が拒否」と消極的ですが、**対岸の左岸側には既に市が防犯灯を設置しています**。同じ川で右岸だけ放置するのは明らかな矛盾です。「県がやらないなら市が守る」という姿勢で、安全の格差をなくすべく早期設置を強く求めます。



午後6時過ぎの田越川管理通路(下田橋～柳原公園)

皆様の市政に対するご意見をお聞かせください。

逗子市議会議員

きく ち しゅん い ち

菊池俊一

逗子市桜山1-14-2

TEL : 070-8401-0942

E-mail : kikuchi@shunichi.jp

shunichi.jp



HP、フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタ、ブログもご覧ください。